

# ようかいわんが かわくんだり

荒戸里也子



「やあ、ようこそ いらっしゃい！」  
はっぴすがたの せんどうさんが、  
ちょっと かわった かわくだりに あんないして くれますよ。





「さあて、かくごは ようござんすか。  
こわさ ひゃくばい、スリルまんてんの かわくだり。  
おいらと いっしょなら、  
どんなことでも へのかっぱ！  
いざ、しゅっぱつで ござーい」

なんでも、この かわには、  
ほんものの ようかいが できるという  
うわさです。



せんだうさんは まえや うしろを とびまわり、  
きゆうな ながれも なんのその。

えい！

やっ！

と！

ごつい いわばを ひらりと かわして、  
みえてきたのは 「ガマのおおいわ」。







ビュルルルー！

その おおいわから とびできたのは  
なが〜い べろ！

「こいつの しょうたいは  
ひとくい オオガマだ。  
つかまらないよう きをつけて！」





ビロ〜ン!  
「あらよっ!」

ベロ〜ン!  
「ほいせっ!」



せんだうさんは、  
あざやかな みのこなして  
オオガマの ベロを  
すりぬけていきました。



つづいての めいしよは、  
うたごえ ひびく『にんぎょのぬま』。



♪ららら〜 るるる〜  
みなさん こっちへ いらっしゃ〜い♪

「う〜ん、いいこえ。とろけそう」